



2025年3月
法政大学教育開発支援機構
教育開発・学習支援センター

生成 AI ツールの利用に関する教員対象調査の実施結果について

1 調査概要

(1) 目的

生成 AI ツールが教育現場において様々な側面で影響を与えつつあるなか、本学における教員の生成 AI ツールの利用状況を把握し、また、授業における活用事例を共有することを目的とする。その上で、当センターとして、生成 AI ツールをどのように教育改善や学習支援に活かしていけるかを検討する。

(2) 調査期間

2024年10月21日（月）～11月10日（日）

(3) 調査対象

2024年度授業担当教員

(4) 調査方法

法政大学アンケートシステム（Web）で実施

2 回答状況

347人（回答者数）/4,909人（対象者数） 回答率：7.1%

回答の基礎集計①

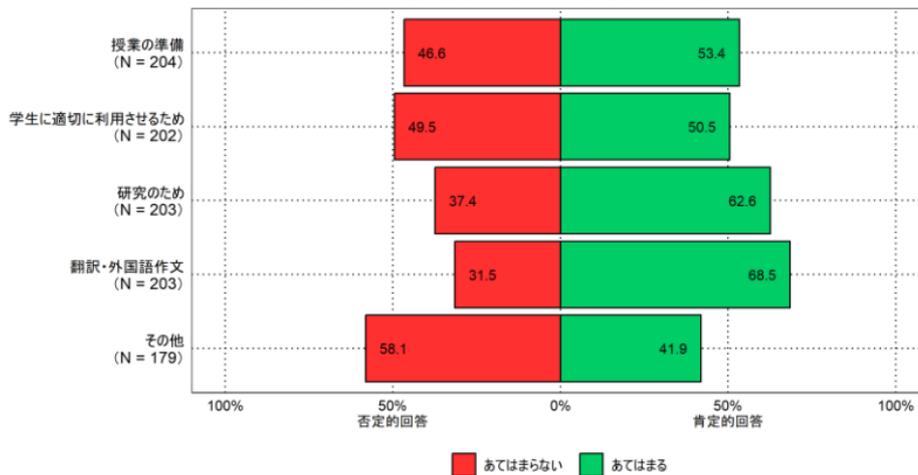
あなたは生成AIツールを利用していますか



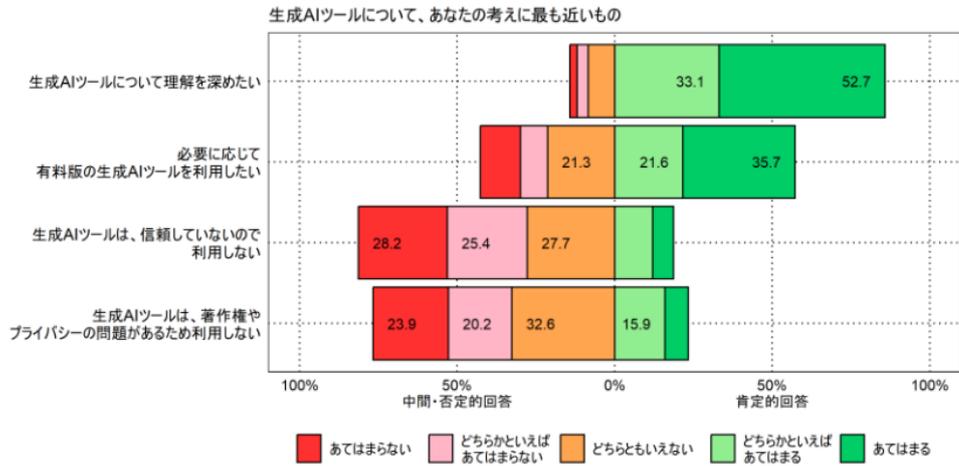
- ・ 利用した経験があるのは、57.3%（肯定的回答）
「利用したが今はしていない」は、7.2%

回答の基礎集計②

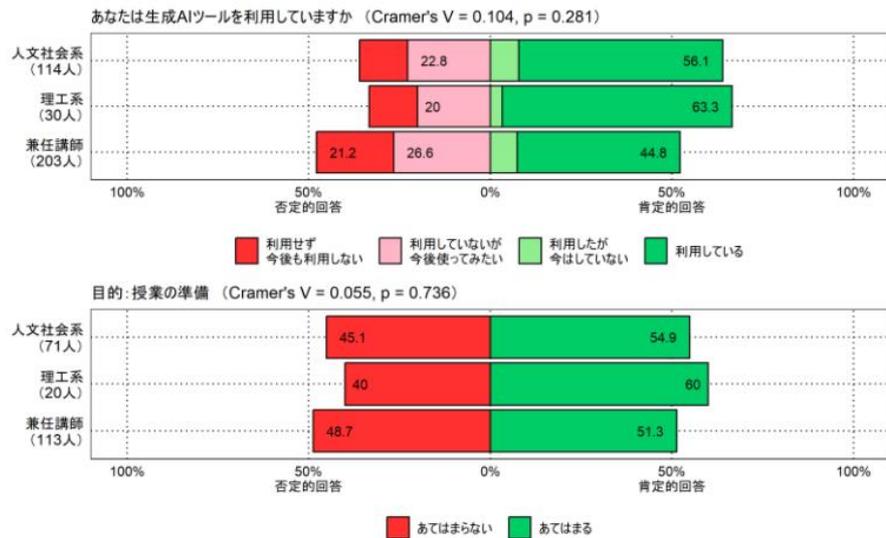
どのような目的か（「利用している」、「利用したが今はしていない」と回答した方）



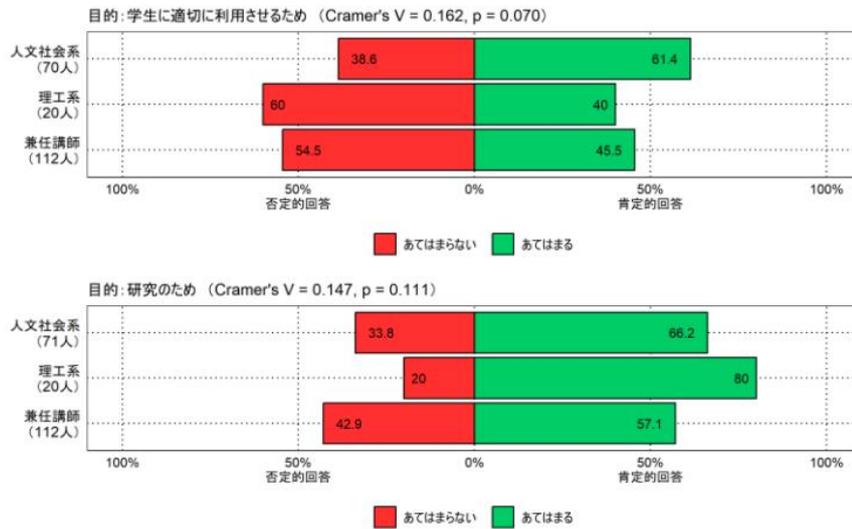
回答の基礎集計③



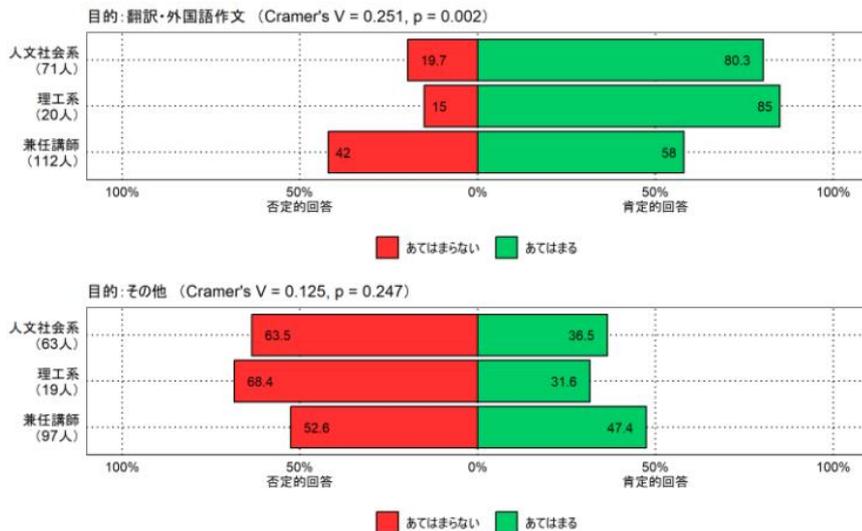
所属別の集計①



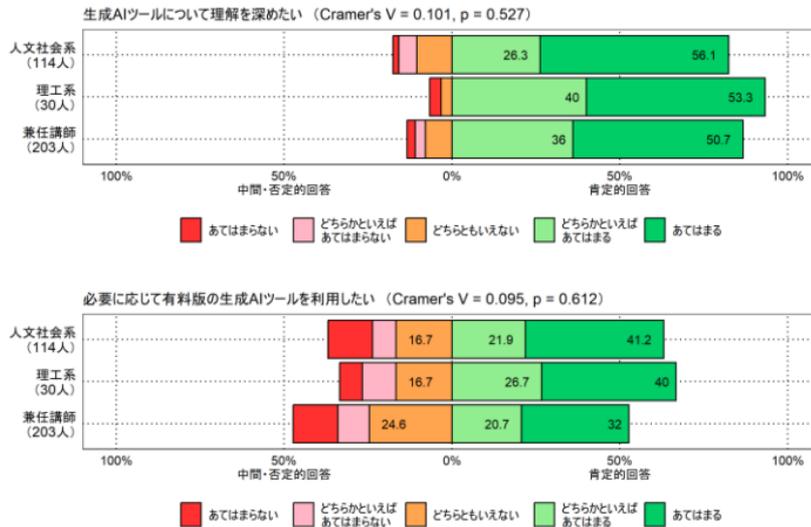
所属別の集計②



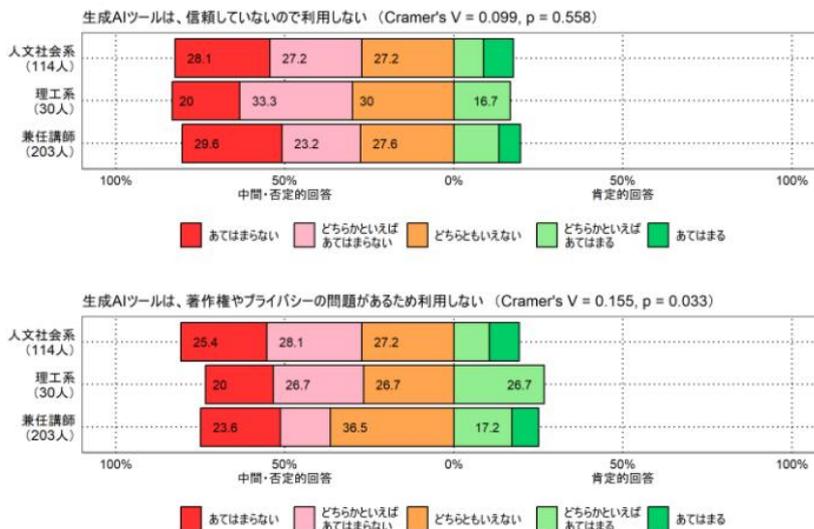
所属別の集計③



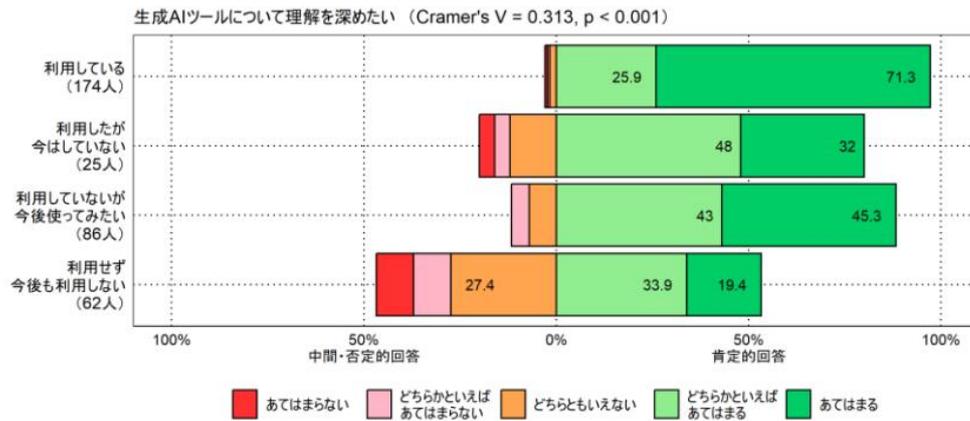
所属別の集計④



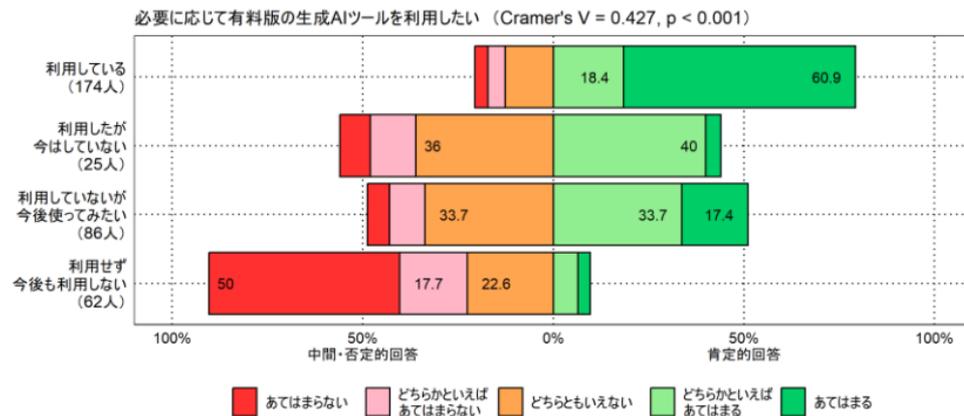
所属別の集計⑤



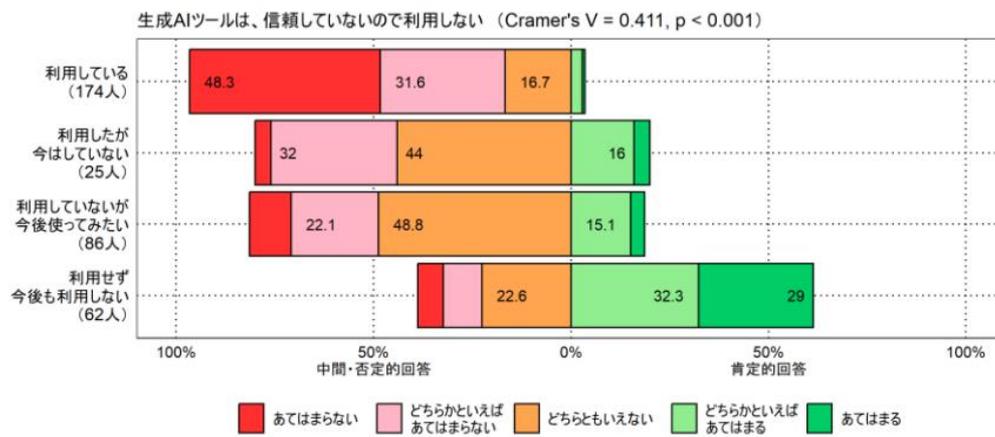
利用状況別の集計①



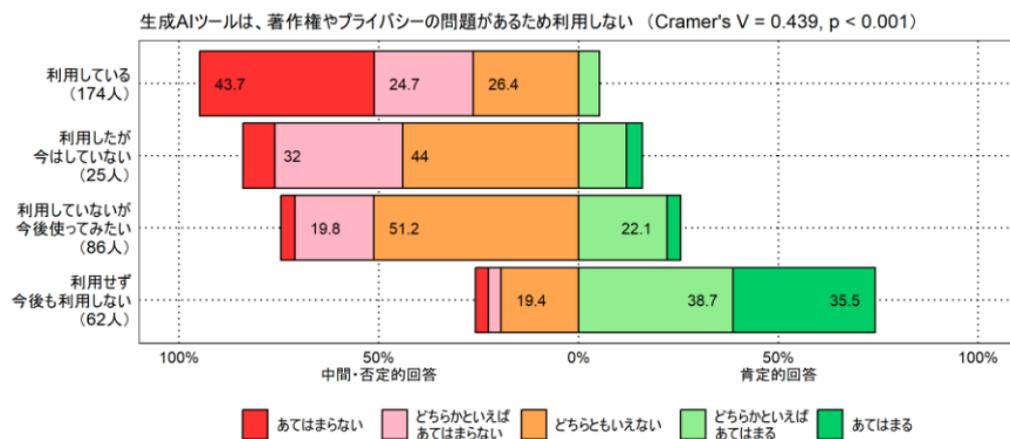
利用状況別の集計②



利用状況別の集計③



利用状況別の集計④



集計の要約①

回答者における割合

- ・生成AIを利用した経験があるのは、57.3%
- ・利用目的で最も多いのは、翻訳・外国語作文（68.5%）
- ・「生成AIツールの理解を深めたい」について、肯定的回答は8割を超える
- ・「有料版の生成AIを利用したい」の肯定的回答は5割程度である
- ・生成AIツールを「信用していない、著作権やプライバシーの問題」で利用しないという肯定的回答は多くない

集計の要約②

回答結果について

- ・所属（人文社会系、理工系、兼任講師）別の集計では、「翻訳・外国語作文」の利用目的が兼任講師で少ない
- ・利用状況別の集計は、「利用せず今後も利用しない」を除く回答者において「生成AIツールの理解を深めたい」の肯定的回答が多い
- ・「今はしていない、今後使ってみたい」の回答者において、生成AIを「信用していない、著作権やプライバシーの問題」で利用しないという肯定的回答は多くない

集計の要約③

利用したことのある生成AIツールについて

- ・「ChatGPT」が最も多く、他に「CoPilot」「Gemini」「DeepL」などあげられる

「その他」回答者の具体的な利用目的（自由記述）について

- ・学生がレポートや課題などで生成AIを利用したときの内容を調べるため
- ・アイデア出しやアイデアの整理、文章の校正
- ・検索エンジンやデータの収集など

集計の要約④

生成AIツールを用いた授業において工夫した点（自由記述）について

- ・生成AIは、誤ったものを（ハルシネーションも含めて）生成すると実際に見せて議論する
- ・授業によっては、創作の利用を勧める場合と禁止する場合もある
- ・検索エンジン、出典を明記するという利用もあれば、検索でなく「生成」という点を強調する場合もある